庭園 協会ニュース 第69号

社団法人 日本庭園協会
東京都新宿区西早稲田 1-6-3 福田ビル 301
〒169-0051　TEL:03-3204-0595（FAX 兼用）
E-mail: gsj20@m7.dion.ne.jp　URL: http://nitteikyou.org/
編集者：広報委員長・柴田正文／委員・小沼康子、加藤精一
題　字：故・上原敬二
発行日：平成24年6月30日

庭園技術連続基礎講座で訪れた新宿御苑

歴史ある日本庭園協会の会長をお引受して

金子 直作

先日の総会で、長い間会長を務めてこられた龍居 竹之介先生の後任として選出されましたが龍居先生と同世代の私としてはまさに老体に鞭打って、もうひと踏ん張りいたしますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

本年度は特に公益法人制度改革に伴う移行期限の年であり、一般社団法人への移行手続きを早急に進めて参ります。現在は望月総務委員長を中心に新定款の作成調整中で完了後、内閣府に申請をする段取りとなっています。又、九月三日から九月五日までオーストラリアで開催される「第七回国際日本庭園シンポジウム２０１２シドニー」については本協会からのワークショップ講師の派遣など三橋国際活動委員長が準備を進めております。海外における日本庭園の姿や現状を知る良い機会ですので会員の皆様の奮っての参加を期待いたします。国内では第四回となった「庭園技術連続基礎講座」も多くの参加者の下、廣瀬技術委員長や講師陣の熱心な講義が始まっています。今後も日本の庭園文化発展のため伝統庭園技術の継承や啓蒙活動に力を注いでいきたいと思っています。鑑賞会会長もこれまで長い間ご尽力いただいた庄司常務理事から青木副会長にバトンが渡され四月に龍居名誉会長に講師をお願いし「人と世間と庭の顔」と題した講演会が盛況裡に終了しております。本協会全般をご指導いただいた西村副会長は退任されましたが大平副会長は留任していただくことになりました。又、財務委員長は退任された石川常務理事から高橋常務理事へ引き継がれました。柴田広報委員長には引き続き協会ニュース、GSJミニニュースの発行など広報活動に期待したいと思っています。本協会の会の運営は会員の拠出する会費のみで成り立っています。残念ながら会費の未納率が約50％であり会務に支障を来たしております。これを０％にするべく是非ご理解、ご協力をお願いいたします。来年は創立九十五周年となります。充実した活動ができるよう皆様と共に頑張って参りたいと存じます。（会長）

役員一覧

平成24年度～平成25年度　☆印は新　敬称略　五十音順

名誉会長	☆龍居 竹之介			
顧問	中村 一			
相談役	河原 武敏			
会長	☆金子 直作			
副会長	☆青木 美樹子	大平 暁		
常務理事	柴田 正文	☆高橋 康夫	廣瀬 慶寛	望月 敬生
理事	上野 周三	☆内田 均	☆加藤 新一郎	鈴木 悦子
	高橋 良仁	前川 冨士子	三橋 一夫	☆山田 拓広
評議員	厚澤 秋成	☆尼崎 博正	粟野 幹夫	☆石井 敬明
	石亀 靖	磯 守	伊藤 春男	今泉 健壽
	☆岩谷 浩三	岩崎 隆	上田 卓	岡部 敏雄
	落合 悟	小野 登身	☆河西 力	風間 伸造
	☆菊地 正樹	木下 照信	後藤 幸雄	小沼 康子
	小杉 忠弘	桜井 忠	☆佐藤 滋雄	白井 裕泰
	菅沼 孝仁	☆鈴木 直衛	☆外丸 実	外山 正幸
	高畑 健一	☆高見 紀雄	☆武部 外喜寛	田中 節照
	殿井 正敏	飛田 幸男	☆本川 勇	中村 寛
	☆中根 史郎	野村 光宏	平井 孝幸	☆福田 芳野
	星 宏一	☆水本 隆信	☆三宅 秀俊	☆曽根 珠江
監事	☆野村 脩	☆大成 白歩	☆高梨 節子	
名誉会員	☆石川 昇造	伊藤 邦衛	小倉 茂	加藤 雍太郎
	☆庄司 ヨシ	杉本 大吉	中瀬 操	☆西村 章子
	☆毛利 元敬	☆山田 昌次	吉村 金男	

本部委員会及び支部組織

本部委員会

総務委員会	委員長	望月 敬生	財務委員会	委員長	☆高橋 康夫
広報委員会	委員長	☆柴田 正文	技術委員会	委員長	☆廣瀬 慶寛
鑑賞研究委員会	委員長	☆青木 美樹子			

特別委員会

文化財指定庭園調査委員会	委員長	☆廣瀬 慶寛
日本庭園協会賞選考委員会	委員長	☆金子 直作
国際活動委員会	委員長	三橋 一夫
鑑賞会	会長	☆青木 美樹子

支部

北海道南支部	支部長	外山 正幸	東北支部	支部長	粟野 幹夫
茨城県支部	支部長	飛田 幸男	栃木県支部	支部長	外丸 実
埼玉県支部	支部長	厚澤 秋成	千葉県支部	支部長	加藤 新一郎
東京都支部	支部長	上野 周三	神奈川県支部	支部長	☆本川 勇
新潟県支部	支部長	☆伊藤 春男	石川支部	支部長	武部 外喜寛
静岡県支部	支部長	石井 敬明	愛知県支部	支部長	高見 紀雄
近畿支部	支部長	山田 昌次	岡山県支部	支部長	三宅 秀俊
広島県支部	支部長	佐藤 滋雄	鳥取県支部	支部長	石亀 靖
山口県支部	支部長	殿井 正敏	香川県支部	支部長	水本 隆信

◎金子新会長のプロフィール

金子 直作氏は昭和8年の生まれで川崎工苑建設（株）入社後、昭和51年に代表取締役社長に就任されました。退任後は(株)大和園の顧問、(株)ワークス総合ガーデン代表取締役に就任され現在に至っています。本協会には昭和39年に、日本造園士会には昭和50年に入会されました。川崎工苑時代の昭和40年代は住宅ブームで造園の設計を主にされ、仕事も忙しく雑誌「ニューハウス」に度々掲載されたそうです。そんな折、龍居名誉会長や斉藤 勝雄氏、飯田 十基氏と面識を得「日本造園士」として登録が許可されたことが誇りだったと語って下さいました。本協会の役員の他、他の造園団体の役員もたくさん経験されています。この豊富な実績を基に本協会をリードして下さることになりました。

■第7回国際日本庭園シンポジウム開催のお知らせ

海外の造園家や日本庭園の愛好家たちとの交流や技術指導を目的とするシンポジウムが、今年はオーストラリアのシドニーにて開催されます。ベテランの方も若い皆さんもぜひご参加下さい。そして海外でにおける日本庭園の人気の高さを実感して下さい。

日時／平成24年8月30日（木）～9月5日（水）7日間
参加費／29万5千円（飛行機代、ホテル代、オプショナルツアー代、シンポジウム参加費、市内交通費含む）※本協会員には一人当たり2万円の補助があります。
定員／20名　※定員になり次第、締め切らせていただきます。
問い合わせ先／三橋 一夫（国際活動委員長）
携帯…090（3234）7617
電　話…043（257）1299
FAX…043（257）6165

【あとがき】金子会長の新体制がスタートし、本部や支部の事業も活発に展開しております。本号は諸般の事情により総会報告が二期分合併となり申し訳ありませんでした。今後は定期発行できるように努力致します。（広報委員会）

平成二十三年度

社団法人 日本庭園協会定期総会開く

平成二十三年三月十一日　東京・明治神宮文化館

社団法人日本庭園協会は、平成二十三年度総会を平成23年3月11日（金）午後一時から東京・代々木の明治神宮文化館で午前の評議員会に続き開催した。途中、東日本大震災が起こり一時中庭に避難し余震が収まらない中、再開したが終了後、帰宅できない約15名は、明治神宮の弓道場にて、寝袋を支給していただき宿泊。帰宅した会員も帰宅難民として大変苦労をした。

【評議員会】　午前十一時　楠の間

司会＝望月 敬生 常務理事

評議員76名中、出席54名（委任状出席24名）で、定款第二十一条により、成立。龍居 竹之介会長が挨拶に続き議長として議事進行。第一号議案「平成二十二年度事業報告および収支決算の件」、第二号議案「平成二十三年度事業計画（案）および収支予算（案）の件」、第三号議案「役員改正（補充）の件」、第四号議案「総会議決事項の委任の件」は総会において一括審議を諮るという事で可決。その他として、「定款変更の流れ」「日本庭園協会賞の件」「ロゴマーク選定発表の件」などが報告された。

【総会】　午後一時　椎の間

司会＝望月 敬生 常務理事

出席者、委任状出席者合わせて308名（会員総数547名）で、定款第二十一条により成立。金子副会長の開会の辞、龍居会長の挨拶の後、会長が議長席に着き議事録作成者に望月 敬生常務理事、議事録署名者に庄司 ヨシ常務理事、木下 照信評議員を、指名、議事にはいる。

○第一号議案

「平成二十二年度事業報告の件」

事業報告＝大平 暁 副会長

決算報告＝石川 昇造 常務理事

青木 美樹子 常務理事

監査報告＝原 徳三 監事

1　現況（平成22年12月31日現在）

①事務所…〒169―0051

東京都新宿区西早稲田一―六―三

福田ビル301号

電話…03（3204）0595

（FAX兼）

URL…http://nitteikyou.org/

E-mail…gsj20@m7.dion.ne.jp

②会員数…正会員547名（12名増）

特別会員／名誉会員11名（±0）

維持会員6社（±0）賛助会員20名（±0）総会員数584名

※カッコ内の数字は前年比

③本部委員会および特別委員会

（カッコ内は委員長）

総務委員会（望月 敬生）財務委員会（石川 昇造）広報委員会（大平 暁）技術委員会（鈴木 直衛）鑑賞研究委員会（庄司 ヨシ）特別委員会／文化財指定庭園調査委員会（龍居 竹之介）日本庭園協会賞選考委員会（龍居 竹之介）国際活動委員会（三橋 一夫）

④鑑賞会および支部（カッコ内は会長＝鑑賞会ブロック、支部長＝支部）

鑑賞会ブロック（庄司 ヨシ）

北海道南支部（外山 正幸）東北支部（粟田 幹夫）茨城県支部（飛田 幸男）埼玉県支部（厚澤 秋成）千葉県支部（加藤 新一郎）東京都支部（上野 周三）神奈川県支部（廣瀬 慶寛）新潟県支部（神田 松太郎）石川支部（武部 外喜寛）静岡県支部（石井 敬明）近畿支部（山田 昌次）岡山県支部（三宅 秀俊）広島県支部（佐藤 滋雄）鳥取県支部（石亀 靖）山口県支部（殿井 正敏）香川県支部（水本 隆信）

2　事業の概要

【本部事業】

(1) 本部事業の推進

①第9回日本庭園協会賞受賞者の決定　小泉 隆一氏（福島）廣瀬辰臣氏（千葉）越智 將人氏（愛媛）（3・11）

②支部表彰

東京都支部（上野 周三支部長）

③ロゴマーク選定発表、賞金授与式（柴田 正文常務理事）

(2) 会議の開催

①定期総会　東京明治神宮文化館（3・12）臨時総会 清澄庭園大正記念館（10・30）

②理事会　小石川後楽園涵徳亭（2・15）清澄庭園大正記念館（9・18）

③支部長会　清澄庭園大正記念館（12・6）

④常務理事会　小石川後楽園涵徳亭（1・26他5回）

(3) 技術事業

若手向け庭園技術連続基礎講座の開催（4・25／5・23／6・27／7・25／8・29）

(4) 広報事業

「庭園協会ニュース」の発行第62号（1・1）第63号（3・12）

(5) 国際活動事業

第6回国際日本庭園シンポジウム協力

(6) その他

ホームページのリニューアル準備

【鑑賞会ブロック事業】

(1) 会議の開催　総会 日本女子大学桜楓2号館（3・27）

(2) 研究会「東京の公開庭園の話題あれこれ」東京都建設局公園緑地部公園建設課長 高橋 康夫氏（3・27）

(3) 庭園見学会　春季見学会 神戸・播磨地方の庭園巡り（5・27～28）秋季見学会 静岡県、沼津市庭園見学会（10・27）

【支部事業】

〈北海道南支部〉

(1) 会議の開催　①支部総会、懇親会（1月）②懇 親 会（10・4）役 員 会（11・4）③23年度技塾打合せ（10・12）

(2) 技術事業　①寒冷地における土壁研究（5・3）②待合周りの飛石・延段の据え方（11・13）

〈東北支部〉

(1) 会議の開催　①役員会、海外研修打ち合わせ会（1・23）②支部総会（3・28）③役員会（4・1）

(2) 技術事業　①海外（オーストラリア）庭園研修会 メルボルン市内日本式温泉旅館、個人邸庭園管理作業、小庭園作庭作業（2・16～23）②スケッチ講習会 講師・洋画家 和田三郎氏（6・5）

(3) 見学会　山形方面庭園見学会「山村正作氏作庭庭園」「竹田利光氏作庭庭園」「旧尾形家住宅見学」「武家屋敷三輪家見学」（10・3）

〈栃木県支部〉

(1) 会議の開催　①支部発足準備会合（4～6月）②支部発足式（7月）

(2) その他　①東京都支部土塀講習会参加6名（8月）②埼玉県支部研修会参加2名（12月）

〈茨城県支部〉

(1) 会議の開催　①役員会（2・18）②支部総会（3・16）

(2) 見学会 ①庭園見学会 飛田支部長の庭園見学（3・16）②技能五輪視察横浜市（10・24～25）③向上庵庭園見学及び住職の法話 土浦市（12・16）

〈埼玉県支部〉

(1) 会議の開催 ①役員会（1・14～11・12 8回）②総会・新年会（1・24）

(2) 技術事業　①研修会 県立いずみ高等学校（6・12～10・24 3回）山口県方面庭園見学ほか（10・2～4）②作品発表会 伊勢丹クローバールーム（12・5）

(3) 見学会

(4) その他　①東京都支部主催講演会参加（2・21）

〈千葉県支部〉

(1) 会議の開催　①新年会（1・18）②役員会（1・23～12・5 3回）③支部総会（4・18）④新会員歓迎会（7・6）⑤シンポジウムの打合せ（9・6）⑥忘年会（12・5）

(2) 技術事業　①西綾高校にてサクラてんぐす病除去（3・20）②技能士取得 講師を交えて6回講習を受ける（6月～7月）③兵庫県無量寿寺 剪定作業（8・28～30）④シンポジウムの実技講習（9・12）⑤国際日本庭園シンポジウム参加 サンディエゴ（10・1～8）

(3) 見学会　①鹿児島、熊本方面5・9～11）②京都方面（8・31～9・1）

(4) その他　①千葉県銘木100選認定委員 支部長参加　②東京都支部主催 照明デザイナー講演会参加（2・21）

〈東京都支部〉

(1) 会議の開催　①幹事会（1・24）②支部総会 支部だより打合せ（3・24）③支部総会（4・11）④納会（11・16）⑤支部だより打合せ（11・20）

(2) 技術事業　安諸定男氏土塀講習会 青梅市明星大学（8・23～25）越智將人氏作品展 設置 善光寺（10・7～8）

(3) 講演会　石井リーサ明理氏 講演会 日本女子大学桜楓2号館（7・21）

(4) 見学会　見学会 安諸定男氏作庭 妙定院 他（4・11）

〈神奈川県支部〉

(1) 会議の開催　①役員会（1・24～11・20 3回）②支部総会（2・14）

(2) 技術事業　①第1回庭園研修会（4・20）②第2回庭園研修会（6・15）③第3回庭園研修会（9・7）④日本造園学会関東支部大会 事例・研究報告参加〈ポスターセッション〉庭盛会（青年部）活動記録（11・7）⑤庭盛会（青年部）活動報告3月～12月の各月に、定例会、講習会（三和土、ワラボッチ、ひしぎ）見学会実施

〈新潟県支部〉

(1) 会議の開催　①新年会（1・15）②役員会（2・1～12・13 8回）③支部総会（2・12）④貞観園第1回検討委員会 貞観園（6・28）⑤納涼会（9・4）⑥忘年会（12・12～13）

(2) 技術事業　①貞観園整備ボランティア活動 貞観園（5・25）②県外研修（実測調査）茨城県筑西市下館（9・10～11）③北方文化博物館実測調査（11・12～14）

(3) 見学会　県内研修 貞観園及び池忠造園作品の見学 貞観園（5・30）

(4) 田中泰阿弥研究会　①第6回『手紙を読む会』（3・13、以降8月まで6回開催）②第7回『手紙を読む会』（9・18以降12月まで4回開催）

〈石川支部〉

(1) 会議の開催　①支部総会（1・17）②役員会（11・30）

(2) その他　①山口県支部会員来沢市内古庭園見学案内（4・3～4）②

新潟支部庭園見学会参加（5・30）③東京都支部会員 能登赤松見学案内（7・5～6）

〈愛知県支部〉

(1) 会議の開催 ①支部発足会（8・4）②幹事会（10・13）

(2) 技術事業 石積講習会「SAVE THE STONE 絶滅石材を救え」（株）おしゃ楽共同開催（11・13、14・17）

(3) 講演会「植治とその時代」講師…田井 洋子 ウィルあいち（11・20）

〈静岡県支部〉

(1) 会議の開催 ①役員会（2・8～11・20 4回）②支部総会及び東京方面研修旅行（2・21～22）

(2) 技術事業 ①研修会さし金とのみ、ほぞ、ほぞ穴 講師：野村建築（8・22）②庭園研修 インカ彫刻石垣をめざして、目地石の加工整形 講師…玉木 崇晴氏 石彫家（10・24～31）

(3) 観察会 富士山第1～第3、宝永山及び大沢崩れ、オブザーバー…小林清氏 写真家、山林パトロール（10・22）

〈近畿支部〉

(1) 会議の開催 ①支部総会（4・18）②役員会（6・8）

(2) 見学会 智積院 他（7・17）

〈岡山県支部〉

(1) 会議の開催 ①支部総会（3・16）②役員会（10・18）

(2) 技術事業 版築土塀・モニュメント・たたき土間講習会 尾道市（8・28）

(3) 見学会 ①東京フラワーショー見学 国営昭和記念公園（4・17～18）②広島庭園見学会 福山市（7・25）③瀬戸内国際芸術祭見学 岡山市（9・12）

〈広島県支部〉

(1) 会議の開催 ①支部総会（1・17）②役員会（6・18～11・25 4回）

(2) 技術事業 炭焼講習 池下清山園土場（準備 2・28／薪入れ・火入れ 3・7／炭出し 3・28／薪入れ 4・11／火入れ 4・18／炭出し 5・1）

(3) 見学会 鞆の浦・明王院など（7・25）

〈鳥取県支部〉

(1) 会議の開催 支部総会（4・20）

(2) 技術事業 都市緑化フェアー参加（11・3）

〈山口県支部〉

(1) 会議の開催 ①幹事会（2月～10月 4回）②支部総会（8月）

(2) 見学会 埼玉県支部と合同研修旅行 山口、萩、岩国方面（10月）

〈香川県支部〉

(1) 会議の開催 ①役員会（4・15～10・25 2回）②支部総会（5・15）

(2) 技術事業 ①善通寺フラワー&ガーデンフェスタ2010 善通寺市（5・15～16）②庭空間の創造展 青山善光寺（10・9～14）

(3) 見学会 ①ケースオーエン氏アトリエ他 愛媛県（7・11）②雑木の庭 小形研三の世界 庭園パネル展 岡山市（10・30）

(3) 講演会 水本 隆信氏 琴平町つるや旅館（5・15）

(4) その他 国際日本庭園シンポジウム参加 アメリカサンディエゴ（10・1～10）

以上の報告に続いて決算報告と監査報告が行われた結果、満場異議なく了承、第一号議案は可決した。

○第二号議案

「平成二十三年度事業計画（案）および収支予算（案）の件」

計画説明＝大平 暁 副会長

予算説明＝石川 昇造 常務理事

1 事業計画の概要

本協会は庭園、公園、園芸および風致を対象に、その研究、普及、発達向上を通じ、住環境の整備発展に力をつくすとともに、社会地位確立のための活動を大きな目標として進んでいる。その一環として創立以来〈庭園趣味の普及〉という命題も揚げてきた。平成23年度の本協会の活動に当たっても、これらの目標達が基本方針をなすことに変わりはない。

そのためには事業の活性化が第一に考えられなければならない。その場合、具体的には、会員相互の研鑽・友好を計るための事業と、一般および関係団体などを問わず広く本協会の活動趣旨に賛同する人々へ発信する事業と、この双方を前面に押し出して考えるのが妥当であろう。

会員に対する事業の根幹は、一に相互の連絡を密にすることにある。その意味で広報活動の充実化、拡大化に積極的に取り組みたい。本部と支部の連携、そしてそれによる本部と会員の意思の疎通をこれによって図ることが先決だろう。従来は総務担当がこうした動きの中心にあったが、広報との共同で会員間の結束に向かいたい。このような動きを外部に発信することによって、本協会の姿が外部にも伝わり賛同、そして入会増にも繋がるのではないだろうか。

事業本体は会員の意識の向上に尽くすものでなければならない。それは庭園、公園、園芸、風致などに関する技術の習得であり、それらの趣味としての普及である。この両者が並立することが社会的地位の向上への基本の一歩と考えれば、それらの企画立案の方向性も自ずと確立する道が開かれるはずである。

その意味で、「伝統庭園技塾」「庭園に関する基礎講座」「講演会」「研究会」などを本部、支部の協力下に

年間計画として設定し、広く全会員が協会事業を享受できるようにすることを第一義と考えたい。

平成23年度は本協会にとって大きな変革をとげる年である。懸案であった定款の改正、新法人への移行といった法制上の問題の進行は、協会の組織の改変という問題も提起することになる。しかし、それに伴って本部と支部、さらには会員間の連携がさらに緊密になるように研究、努力も行わなければならない。そのためにも各事業の実施には綿密な計画立案が要求されよう。しかしそのことが、本協会の独自性ある活動として社会に認知され、同時に監督各庁の高い評価を受ける結果ともなれば、これに過ぎる幸いはなかろう。

昨年度は栃木県支部、愛知県支部の誕生という快挙を筆頭に、本部では国際日本庭園シンポジウム、連続講座、作品集「日本の庭を彩る」刊行など、各支部でも技術講座、見学、調査研究事業など、数多くの事業が実施されてきた。その成果に感謝するとともに、これを本年度の事業計画の糧としたい。

以上を指針として平成23年度の事業を進めることとし、以下にその計画案および予算案を提議する。

（龍居 竹之介＝会長）

【本部事業】

(1) 本部事業の推進 ①ホームページの更新、充実を図る②会員の確保、事務局の充実、支部体制の拡充を図る③第9回日本庭園協会賞及び各種の表彰

(2) 総会等の開催 定期総会 東京明治神宮 文化館（3・11）

(3) 総務事業 総会と役員会の開催（常務理事会～年10回、理事会～年2回、支部長会～1回を予定）

(4) 技術事業 ①若手向け庭園技術連続基礎講座の開催（2・27／3・27／4・24／5・29／6・26）②伝統庭園技塾の開催 北海道「静寂の郷」（10・3～8）その他

(5) 広報事業 ①庭園ニュースの発行 第65号（1月1日発行）をはじめ年間4回発行 ②協会機関紙「庭園」の刊行、その他

(6) 国際活動事業 海外の日本庭園機関との提携、交流の促進を図る

【鑑賞会ブロック事業】

(1) 会議の開催 ①総会 日本女子大学桜楓2号館（3・26）

(2) 研究会 「技術と創作」陶芸家 寺田 康雄氏（3・26）

(3) 庭園見学会 ①春季見学会 千葉県高梨氏庭園・上花輪歴史館・旧茂木邸庭園・鈴木邸庭園（5・18）②秋季見学会 仙台・平泉・前沢の庭園（10月中旬）

(4) その他 『庭園の鑑賞』冊子の刊行

【支部事業】

〈北海道南支部〉

(1) 会議の開催 支部総会・懇親会（1月下旬）

(2) 技術事業 ①技塾準備（4月下旬）（6月）（8月）②伝統庭園技塾開催（10月）③技塾反省会（11月）

〈東北支部〉

(1) 会議の開催 ①支部新年会（1・23）②支部役員会（2・6）③支部総会（3・27）④反省会（12月）

(2) 技術事業 ①実技研修会会場視察、測量 大和町 覚照寺（2・13）②実技研修会 大和町 覚照寺（8月下旬）

(3) 庭園見学会 庭園見学会（6月）

〈栃木県支部〉

(1) 会議の開催 支部総会（4月）

(2) 技術事業 ①竹垣・石積・版築講習会（4月）②竹垣・石積・版築講習会（5月）③講習会（6月に行う場合がある）④古庭園保存事業（庭園修復作業計画）（10月）

(3) その他 神奈川県支部会員訪問（8月）

〈茨城県支部〉

(1) 会議の開催 ①役員会（2・15～12・19 3回）②支部総会（3・25）

(2) 技術事業 ①版築講習会 水戸市成樹園（3・19～20）②向上庵の池及び石組清掃・測量 土浦市小野（8・27、28）

(3) 見学会 ①会員作の庭園見学（3・25）②岡山県・鳥取県方面（10・2～4）

〈埼玉県支部〉

(1) 会議の開催 支部総会・新年会（1・23）

(2) 技術事業 ①泥深庵周辺管理 県立いずみ高等学校（2・13）②研修会 県立いずみ高等学校（6・11～10・30 3回）③研修旅行（9・24～25）④作品発表（12・6）

〈千葉県支部〉

(1) 会議の開催 ①新年会（1・22）②役員会（2・24）③支部総会（4・10）④12月 忘年会

(2) 技術事業 ①支部技塾 現地調査（3・13）②サクラてんぐす病除去 西綾高校（3・26）③講習会 マキの枝をノミを使って枝付け（3・29）④支部技塾 石組み（4・3、17）⑤支部技塾 つくばい（5・1、15）⑥支部技塾 延段（6・5、19）⑦技能士取得（6月～7月）⑧研修旅行（7月）⑨支部技塾 竹垣（8・7、21）⑩支部技塾 石垣（9・4、18）⑪剪定作業 兵庫県無量寿寺（9・10）⑫支部技塾 深草犬走（10・2、16）⑬支部技塾 樹木の配置（11・6、20）

(3) その他 千葉県銘木100選認定委員 支部長参加

〈東京都支部〉

(1) 会議の開催 ①幹事会2～3回（1～3月）②支部総会（3月または

25　4月）③納会（11月）

(2) 技術事業　安諸 定男氏 編笠門講習会（2日間）青梅市明星大学（8月下旬、9月上旬）

(3) 講演会　写真家 信原氏と編集者豊藏氏による講演 清澄庭園大正記念館（4・2）

〈神奈川県支部〉

(1) 会議の開催 ①役員会（1・27～11・15 3回）②支部総会（1・27）

(2) 技術事業　①第1回庭園研修会 小島 佐一の作風 講師…本川 勇 横浜西公会堂（2・15）②第2回庭園研修会 小島 佐一の作風 講師…本川 勇 横浜西公会堂（3・15）③第3回庭園研修会 横浜市立馬場花木園 講師…風間 伸造（4・20）④第4回庭園研修会 横浜西公会堂（5・17）⑤第5回庭園研修会 横浜西公会（6・21）⑥庭園パネル展示会 横浜三溪園（10・12～21）

〈新潟県支部〉

(1) 研修会 ①県外研修 湯河原 翠溪荘 田中泰阿弥作庭（2・22）②県外研修 MOA美術館・箱根美術館（2・23）③県外研修 鎌倉高徳院鎌倉尚半亭 田中泰阿弥作庭（2・24）④県外研修 上越方面（関山神社石庭他）（未定）⑤企画展 上越方面にて開催予定 ⑥実測調査 北方文化博物館

(2) 田中泰阿弥研究会　①第8回手紙を読む会（3・19／4・9／5・14／6・11／7・9／8・13）

〈石川支部〉

(1) 会議の開催　役員会（各行事前）

(2) 技術事業　赤松手入講習会 いこいの村 能登半島（9・25～27）

(3) 見学会　新潟庭園見学会 貞観園 清水園 他（6・26～27）

〈愛知県支部〉

(1) 会議の開催　①支部総会 泰福楼（2・19）②幹事会（4月）③支部忘年会（12月）

(2) 技術事業　①石積み講習会「SAVE THE STONE 2」（株）おしゃ楽共同開催（6月）②庭園修復 料亭望洲楼（半田市）重森三玲作庭（7月）③石積み講習会「SAVE THE STONE 3」（株）おしゃ楽共同開催（9月）④「茶事における庭師の作業」茶会開催（10月）

(3) 講演会　講演会「ある建築家と庭を語ろう」建築家岩尻誠氏など予定（11月）

(4) その他　陶芸教室参加（支部員親睦会）豊田市小原鵬釜（5月）

〈静岡県支部〉

(1) 会議の開催　支部総会（2・26）

(2) 技術事業　①技術研修、視察研修 随時開催（日程未定）②静岡支部賞作品募集及び審査表彰

〈近畿支部〉

(1) 会議の開催　①支部総会（4・17）②役員会、その他（必要に応じて随時）

(2) 見学会　妙心寺 他（7・2）

〈岡山県支部〉

(1) 会議の開催　支部総会（2・14）

(2) 見学会　金沢21世紀美術館見学（日程未定）

〈広島県支部〉

(1) 会議の開催　支部総会（2・6）

(2) 技術事業　①第1回炭焼講習会実施 原木の採集と伐採（2・18）②技術講習会 石割り・石彫 など（7月頃）

(3) 見学会　予定（4月頃）

〈島根県支部〉

(1) 会議の開催　支部総会（日程未定）

(2) その他　他支部との交流情報交換

〈山口県支部〉

(1) 会議の開催　①幹事会（3月～12月4回）②支部総会（5月）

(2) 研修会　①研修会（講師研修）下関（6月）②研修旅行 兵庫、京都方面（10月または11月）

〈香川県支部〉

(1) 会議の開催　支部総会（5月頃）

○第三号議案

「平成二十三年度事業計画（案）および収支予算（案）の件」

趣旨説明＝龍居 竹之介 会長

総会に先立って開かれた評議員会にて承認された平成23～24年度役員（案）が総会においても議決された。また、定款変更案を環境省へ提出、改訂後は内閣府と打ち合わせとなり環境省に再提出。返事待ちの状態で、その後、一般か公益法人かの決定が必要。との改正作業の経過報告が説明された。

○第四号議案

「総会議決事項の委任の件」

趣旨説明＝龍居 竹之介 会長

総会議決事項の常務理事会への委任が可決された。

○その他

「ワークブックス刊行報告」「ロゴマーク選定発表」「栃木県支部および愛知県支部発足」が報告された。また、本年度の日本庭園協会賞は、小泉 隆一、智 將人 氏（香川県支部）の三名に贈られた。授与中に東日本大震災、一時中庭に避難し余震収まらず中庭にて授与式を行った。支部表彰は東京都支部の上野 周三支部長に贈られ総会は西村 彰子副会長の閉会の辞で終了した。引き続き会場を移して懇親会が開かれた。交通機関は鉄道、飛行機等一斉マヒ状態で帰宅が困難な中、散会した。

平成 22 年度収支計算書

平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科　目	①22 年度予算額	②22 年度決算額	②－①増減
Ⅰ　事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
入会金収入	150,000	105,000	△ 45,000
入会一時金		0	0
正会員会費収入	7,605,000	6,917,000	△ 688,000
3カ年経過未収会費	△ 104,000	△ 287,000	△ 183,000
総会費収入	800,000	1,297,000	497,000
寄附金収入	0	16,000	16,000
受取利息	1,000	276	△ 724
誤入金		40	40
維持会員会費収入		120,000	120,000
事業活動収入計	8,452,000	8,168,316	△ 283,684
2．事業活動支出			
①事業活動収入計			
定期総会費	700,000	680,280	△ 19,720
理事会費	300,000	518,488	218,488
活動振興費	4,500,000	2,486,257	△ 2,013,743
会報印刷配布費	950,000	679,115	△ 270,885
事業費支出計	6,450,000	4,364,140	△ 2,085,860
②管理費支出			
事務員給与	1,500,000	1,500,000	0
渉外慶弔祝賀費	200,000	185,750	△ 14,250
旅費交通費	30,000	0	△ 30,000
運営諸管理費	300,000	300,000	0
通信運搬費	700,000	950,247	250,247
消耗什器備品費	50,000	13,860	△ 36,140
文具消耗品費	100,000	122,209	22,209
広告宣伝費	50,000	103,500	53,500
光熱水料費	50,000	46,713	△ 3,287
賃借料	975,000	975,000	0
保険料	20,000	0	△ 20,000
租税公課	0	0	0
法律事務所顧問料	400,000	378,000	△ 22,000
法人申請準備金	100,000	100,000	0
会計事務所顧問料	164,000	164,000	0
諸手数料	80,000	79,762	△ 238
雑支出	8,786	0	△ 8,786
事業活動収入計	4,727,786	4,919,041	191,255
事業活動支出計	11,177,786	9,283,181	△ 1,894,605
事業活動収支差額	△ 2,725,786	△ 1,114,865	1,610,921
Ⅱ　予備費支出			
当期収支差額	△ 2,725,786	△ 1,114,865	1,610,921
前期繰越収支差額	2,725,786	2,725,786	0
次期繰越収支差額	0	1,610,921	1,610,921

正味財産増減計算書

平成 22 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1　経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受取入会金	
受取入会金	105,000
入会一時金	0
②受取会費	
正会員受取会費	6,917,000
三ヵ年経過未収会費	△ 287,000
③受取総会費	
総会費	1,297,000
④受取寄附金	
受取寄附金	16,000
⑤雑収益	
受取利息	276
誤入金	40
維持会員会費収入	120,000
経常収益計	8,168,316
(2) 経常費用	
①事業費	
定期総会費	680,280
理事会費	518,488
活動振興費	2,486,257
会報印刷配布費	679,115
②管理費	
事務局員給与	1,500,000
渉外慶弔祝賀費	185,750
旅費交通費	0
運営諸管理費	300,000
通信運搬費	950,247
消耗什器備品費	13,860
文具消耗品費	122,209
広告宣伝費	103,500
光熱水料費	46,713
賃借料	975,000
保険料	0
租税公課	0
法律事務所顧問料	378,000
法人申請準備金	100,000
会計事務所顧問料	164,000
諸手数料	79,762
諸雑費	0
経常費用計	9,283,181
当期経常増減額	△ 1,114,865
当期一般正味財産増減額	△ 1,114,865
一般正味財産期首残高	2,725,786
一般正味財産期末残高	1,610,921
Ⅱ　正味財産期末残高	1,610,921

財産目録

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には、現金及び預金、未収会費、立替金及び未払金、前受会費、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2．に記載するとおりである。

2．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期末残高
現金及び預金	1,585,051	1,378,951
未収会費	2,547,080	2,982,080
立替金	0	0
合　計	4,132,131	4,361,031
未払金	1,086,345	2,478,000
前受会費	311,000	111,000
預り金	6,000	161,110
合　計	1,403,345	2,750,110
次期繰越収支差額	2,725,786	1,610,921

貸 借 対 照 表

平成 22 年 12 月 31 日現在

（単位：円）

科　目	金　額	科　目	金　額
Ⅰ　資産の部		Ⅱ　負債の部	
1．流動資産		1．流動負債	
現金	49,014	未払金	2,478,000
普通預金	112,456	前受会費	111,000
振替預金	1,190,213	預り金	161,110
通常預金	27,268		
未収会費	2,982,080	流動負債合計	2,750,110
		負債合計	2,750,110
		Ⅲ　正味財産の部	
		1．一般正味財産	1,610,921
流動資産合計	4,361,031	正味財産合計	1,610,921
資産合計	4,361,031	負債及び正味財産合計	4,361,031

財 産 目 録

平成 22 年 12 月 31 日現在

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
現金預金	
現金手許有高	49,014
普通預金　みずほ銀行　江戸川橋支店 口座番号　1716382	112,183
普通預金　りそな銀行　早稲田支店 口座番号　1441361	273
振替預金　ゆうちょ銀行 ＃00110-5-76081	1,190,213
通常預金　ゆうちょ銀行 ＃10040-50368701	27,268
未収会費	
うち平成 20 年分会費　196,000	2,982,080
平成 21 年分会費 1,028,080	
平成 22 年分会費 1,758,000	
資産合計	4,361,031
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	
未払金※	2,478,000
前受会費　平成 23 年分会費	111,000
預り金　新潟鑑賞会参加費	161,110
負債合計	2,750,110
Ⅲ　正味財産	1,610,921

※未払金内訳

鑑賞会補助金残金	200,000
事務局給与	1,500,000
法律事務所顧問料H22 年分	378,000
公益法人申請費用	100,000
運営諸管理費	300,000
	2,478,000

監　査　報　告　書

下記監事 3 名は 社団法人日本庭園協会 において、会長の提出した平成 22 年度における会務の執行を総括した会費収入の「活動振興費」の内訳並びに「収支計算書」「正味財産増減計算書」「貸借対照表及び財産目録」等につき監査した。

監査の結果、会務の執行は当該協会の定款に基づき誠実に行なわれており、正確に処理されていることをみとめます。

平成 23 年　3 月　3 日

社団法人日本庭園協会
監事　　原　徳三
同　　河村　素山
同　　鈴木　崇

平成二十四年度

社団法人 日本庭園協会定期総会開く

平成二十三年三月十六日　東京・明治神宮文化館

社団法人日本庭園協会は、平成24年3月16日（金）午後一時から東京・代々木の明治神宮文化館で、午前の評議員会に続き開催した。

【評議員会】 午前十一時　楠の間

司会＝望月 敬生 常務理事

評議員73名中、出席63名（委任状出席29名）で、定款第二十一条により、成立。龍居竹之介会長が挨拶に続き議長として議事進行。第一号議案「平成二十三年度事業報告および収支決算の件」、第二号議案「平成二十四年度事業計画（案）および収支予算（案）の件」、第三号議案「役員改正の件」、第四号議案「総会議決事項の委任の件」は総会において一括審議を諮るという事で可決。その他として、「新法人移行の流れ」などが報告された。

【総会】 午後一時　椎の間

司会＝望月 敬生 常務理事

出席者、委任状出席者併せて295名（会員総数577名）で、定款第二十一条により成立。金子副会長の開会の辞、龍居会長の挨拶の後、会長が議長席に着き議事録作成者に望月 敬生常務理事、議事録署名者に柴田 正文常務理事、庄司ヨシ常務理事を、指名、議事にはいる。

○第一号議案

「平成二十三年度事業報告の件」

事業報告＝大平 暁 副会長

決算報告＝石川 昇造 常務理事

監査報告＝原 徳三 監事

1　現況（平成23年12月31日現在）

①事務所…〒169―0051
東京都新宿区西早稲田一―六―三
福田ビル301号
電話…03（3204）0595
（FAX兼）
URL…http://nitteikyou.org/
E-mail…gsj20@m7.dion.ne.jp

②会員数…正会員544名（3名減）
特別会員／名誉会員9名（2名減）
維持会員6社（±0）賛助会員20名（±0）総会員数579名
※カッコ内の数字は前年比

③本部委員会および特別委員会（カッコ内は委員長）
総務委員会（望月 敬生）財務委員会（石川 昇造）広報委員会（柴田 正文）技術委員会（廣瀬 慶寛）鑑賞研究委員会（庄司ヨシ）特別委員会／文化財指定庭園調査委員会（龍居 竹之介）日本庭園協会賞選考委員会（龍居 竹之介）国際活動委員会（三橋 一夫）

④鑑賞会および支部（カッコ内は会長＝鑑賞会ブロック、支部長＝支部）
鑑賞会ブロック（庄司ヨシ）
北海道南支部（外山 正幸）東北支部（粟田 幹夫）茨城県支部（飛田 幸男）栃木県支部（外丸 実）埼玉県支部（厚澤 秋成）千葉県支部（加藤 新一郎）東京都支部（上野 周三）神奈川県支部（廣瀬 慶寛）新潟県支部（神田 松太郎）石川支部（武部 外喜寛）静岡県支部（石井 敬明）愛知県支部（高見 紀雄）近畿支部（山田 昌次）岡山県支部（三宅 秀俊）広島県支部（佐藤 滋雄）鳥取県支部（石亀 靖）山口県支部（殿井 正敏）香川県支部（水本 隆信）

2　事業の概要

【本部事業】

⑴会議の開催　①定期総会　東京明治神宮文化館（3・16）②常務理事会　小石川後楽園涵徳亭他（1・31、他7回）③支部長会　小石川後楽園涵徳亭（9・4）（12・10）

⑵技術事業　①若手向け庭園技術連続基礎講座の開催（2・27／4・24／5・29／6・26／8・7）②石川支部赤松手入れ講習会共催（9・25～27）③北海道南支部講演会と見学会共催（10・8、9）

⑶広報事業　①「庭園協会ニュース」の発行第65号（1・1）第66号（3・11）第64号（12・22）②GSJミニニュースNo.1（9・8）No.2（9・14）No.3（10・19）No.4（11・23）No.5（12・19）

⑷その他①常務理事会決定に基づき東北支部へ東日本大震災の見舞金を届ける（8・30）②各支部活動協力等③ホームページのリニューアル準備

【鑑賞会ブロック事業】

⑴会議の開催　①総会 日本女子大学桜楓2号館（3・26）※大震災の影響により中止　②23年度第3回鑑賞会委員会及び総会（4・4）

⑵研究会　「技術と創作」陶芸家 寺田康雄氏（3・26）※大震災の影響により中止

⑶庭園見学会　①春季見学会「上花輪歴史館の集い」（5・18）②秋季見学会 神代植物公園、滄浪泉園、殿ヶ谷戸庭園（10・16）

【支部事業】

〈北海道南支部〉

⑴会議の開催 ①支部総会 懇親会（1月）②静岡研修（3月）

⑵技術事業 ①技塾準備（4月）②支部講習会（6月7月8月11月）③懇親会（11月）

⑶講演会　本部共催講演会　講師…龍居 竹之介会長、鈴木 直衛常務理事

〈東北支部〉

⑴会議の開催　①役員会（2・6）②懇親会（8・30）

⑵技術事業　23年度実技研修会会場視察、測量　大和町　覚照寺（2・13）
※震災のため研修会中止

〈栃木県支部〉

⑴会議の開催　支部総会（4・16）

⑵技術事業　技術向上事業　古庭園再生作業（市民参加）足利庭園文化研究会共同事業　本部役員の方々に協力を依頼（講演・技術指導）（7・3）

⑶庭園啓発事業　①足利古庭園講座の開催　足利庭園文化研究会への事業協力（11・10～19）②足利古庭園めぐりツアーの実施（足利市民向け）足利庭園文化研究会へ協力（11・20）

⑷支援活動　①宮城県にてボランティア活動（4・8～8月まで）②宮城県亘理被災小学校へ植樹活動　東北支部地域会員に協力依頼（12・3）

〈茨城県支部〉

⑴会議の開催 ①支部役員会（2・15）②支部総会（6・25）③支部長会（9・4／12・10）

⑵技術事業 ①版築講習会　水戸市成樹園（6・25、26）②技能五輪出場者練習指導（5・10～11・20までの土日）

⑶その他 ①千葉県支部廣瀬氏庭園協会賞祝賀会出席（6・4）②技能五輪全国大会視察　静岡市（12・17～18）

〈埼玉県支部〉

⑴会議の開催 ①役員会（1・12～11・46回）②総会・新年会（1・16）

⑵技術事業 ①泥深庵周辺管理 県立いずみ高等学校（2・6）②「球体の石積み空間」県立泉高等学校（4・17～10・23 5回）③いずみ高等学校「スペシャリストに学ぶ」県立いずみ高等学校（11・22）④作品発表会浦和はなの舞（12・4）

⑶その他 ①東京都支部主催講演会参加（7・3）②大北 望氏講演会参加 日建工科専門学校池袋校（8・27）

〈千葉県支部〉

⑴会議の開催 ①役員会（4・29～8・17 3回）②支部総会及び廣瀬氏祝賀会打合せ（5・29）③支部総会及び廣瀬氏庭園協会賞受賞祝賀会（6・4）④新会員歓迎会（7・16）⑤忘年会講話（12・4～5）

⑵技術事業 ①支部技塾設計打合（4・17）②支部技塾現場整地及びやり方（5・5）③支部技塾　客土搬入、整地（6・12）④支部技塾　地割　水琴窟展示会　成田山新勝寺（6・26）⑤支部技塾　庭石搬入（7・18）⑥支部技塾 無量寺のマキ剪定（8・26～29）⑦支部技塾　石組み　大型クレーン使用（9・11）⑧支部技塾　土留め野面石積み、崩れ積み（9・25／10・9）⑨支部技塾　流れ石組み（10・23）⑩支部技塾　池周辺石組み（11・13、27）⑪層塔修復（東日本大震災時）成田西陵高校（11・19）⑫支部技塾　飛び石、延段、州浜五郎太張り（12・11）

⑶その他 ①東日本大震災　復興支援活動合同実施　日本庭園協会、佐原造園組合、東風庭園研究会（4・9）②千葉県銘木100選現地調査　掘り起こし（8・30）

〈東京都支部〉

⑴会議の開催　①支部総会（4・2）②千葉県支部総会出席（6・4）③支部長会（9・4／12・10）④納会（11・26）

⑵講演会　「写真家と編集者から見た庭の世界」開催　清澄庭園（7・3）

⑶見学会　玉堂美術館見学（河村素山氏解説）旧宅偶庵見学（日展参事宇佐美江中氏解説）漆芸作家並木恒雄氏講演（10・13）

⑷その他　①支部だより発行（7・24）②安藤 邦廣教授講演会出席（9・9）③安藤 邦廣教授に講演依頼 筑波大学（10・28）

〈神奈川県支部〉

⑴会議の開催　①三役会議（1・7～11・4 3回）②役員会（1・27～12月4回）③支部総会（1・27）

⑵技術事業　①第1回庭園研修会「小島佐一の作風1」講師：本川勇氏（2・15）②第2回庭園研修会　震災の為中止（3・15）③第3回庭園研修会「横浜市立馬場花木園見学」講師…風間 伸造氏（4・20）④第4回庭園研修会「吉村 巌の作庭」講師…與五澤 廉司氏「小島佐一の作風2」講師…本川 勇氏（5・17）⑤第5回庭園研修「飯田 十基」講師…廣瀬 慶寛支部長「現場のロープワーク」講師：安齊 正之氏（6・21）⑥庭盛会（青年部　定例会 講習会 見学会等実施（1～12月の各月）

〈新潟県支部〉

⑴会議の開催 ①新年会（1・14）②役員会（2・12～11・27 8回）③支部総会（2・12）④石川支部との合同懇親会（6・26）⑤納涼会（9・16）⑥県内研修（上越地区）⑦忘年会（11・26、27）

⑵技術事業　①県外研修（熱海市MOA美術館　箱根美術館　他（2・22～24）②貞観園 伝統庭園技塾 現地視察打合せ　貞観園（5・20）③実測調査　北方文化博物館（伊藤家）（5・28、29）④伝統庭園技塾　貞観

園（6・24、25）⑤貞観園 整備検討委員会（7・5）⑥貞観園 緊急修繕工事（7・12）⑦貞観園 水漏れ工事（参加者9名）（10・11、12）

⑶**田中泰阿弥研究会** ①第7回『手紙を読む会』（1・8／2・12）②第8回『手紙を読む会』（3・19以降8月まで6回開催）③第9回『手紙を読む会』（3・19以降12月まで3回開催）

〈石川支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（1・10）②役員会（2・17）③支部長会（9・4 12・10）

⑵**技術事業** 赤松手入れ講習会 いこいの村能登半島（9・25～27）

⑶**見学会** 新潟研修旅行 新潟市、新発田市、柏崎市（6・26、27）

〈静岡県支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（2・26）②役員会（7・29）③支部長会（9・4／12・10）

⑵**技術事業** ①庭園研修 インカ彫刻石垣 講師…玉木 崇晴氏研修会 小杉造園（1・23／2・13）②庭園研修 自作の石彫作品に望む 講師…玉木崇 晴氏 小杉造園（4・10／6・12）

〈愛知県支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（2・19）②幹事会（10・1）

⑵**技術事業** ①滋賀穴太衆との交流会（7・8）②重森三玲作庭見学 石積講習会（株）おしゃ楽共同開催 半田市料亭望洲楼（7・8）

⑶**見学会** 滋賀県坂本「穴太積の里を訪ねそして、語ろう」講演・解説（株）粟田建設 十四代石匠粟田純司氏（12・7）

⑷**その他** ①陶芸教室参加（支部員親睦会）豊田市小原鵬窯 ②茶会「茶会に参加して茶に親しみそして、楽しむ。」日進市黒笹会（11・5～6）

〈近畿支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（4・20）②役員会（6・15）

⑵**見学会** 京都東急ホテル（7・19）

〈岡山県支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（2・14）②役員会（3・22～8・8 3回）

⑵**見学会** 金沢・滋賀県方面（6・10、11）

⑶**その他** 大北望講演会あずきミュージアム 姫路市（9・8）

〈広島県支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（2・6）②役員会（12・1）

⑵**技術事業** ①炭焼講習（原木の収集と伐採 原木から炭になる収縮率の実験2・18／炭焼準備サクラ、クヌギ3・5／カマ入れ、火入れ4・17／炭焼準備マツ、サクラ、カシ、カイヅカ、シンジュなど 様々な原木でどのような炭になるか実験5・15／炭出し6・5）

〈鳥取県支部〉

⑴**会議の開催** 支部総会（4・24）

〈山口県支部〉

⑴**技術事業** ①技能講習 鈴木常務理事 山口（6月）②技能講習 台風のため欠席 山口と下関とで交互に開催（9月）

〈香川県支部〉

⑴**会議の開催** ①役員会（4・25～10・27 3回）②支部総会（5・21）

⑵**技術事業** 善通寺フラワー&ガーデンフェスタ2011参加（5・21、22）

⑶**講演会** 水本 隆信氏 琴平町つるや旅館（5・21）

⑷**その他** ①石川支部赤松手入れ講習会 参加（9・25～27）②愛知県支部穴太石積見学会参加（12・7）

以上の報告に続いて決算報告と監査報告が行われた結果、満場異議なく了承、第一号議案は可決した。

○第二号議案

「平成二十三年度事業計画（案）および収支予算（案）の件」

計画説明＝大平暁副会長

予算説明＝石川昇造常務理事

事業計画の概要

本協会は大正7年の創立以来、庭園の社会的地位確立という目的に向かい、今日まで前進を続けてきた。具体的には庭園、公園、園芸および風致の研究、普及、発達向上を目的とし、さらには庭園趣味の定着をはかることを目指した事業の展開という形でそれは進められてきた。平成24年度の活動に際してもこの形を崩すことなく本来の目的達成に向けて努力を積み重ねて行きたい。

まず昨年は東日本大震災という史上その例を見ないという災害に見舞われ、本協会会員、特に東北支部の会員諸氏が、大変な苦闘に直面されることになったことに、心からお見舞いを申し上げたい。またその復興に心血を注がれておられるようすには深い感動をおぼえさせられた。このパワーを摸範として本協会自体も積極的に事業の展開をめざすべきではなかろうか。

事業の遂行にあたって必要なことは魅力ある企画の立案、その実践のための経費の確保の二本柱である。この二本柱の確保は、本協会の趣旨に賛同し活動を支援して下さる会員の増加によって、初めて大きな進展を見る。まずはこうした事情の認識の上に立って協会の運営は行って行くべきであろう。

本年度は新しい法人格を取得することが予定されているが、新法人に対する行政府の指導は従前以上に積極性を増すと思われるため、事業の計画、実施についてはなおさら入念さが求められることになろう。

事業計画そのものについては、昨年度と同様に本部と鑑賞会（鑑賞研究会）を含む各支部との連携に留意して進めることを主眼としたい。その意味で昨年度の本部と北海道南支部による講習会はモデルケースとなるだろう。技術面では、5回1クールの「基礎講座」、本部講師派遣をふくむ支部共催の「講習会」、あるいは支部主催の「見学会」「講演会」「写真展」などの開催を目指したい。鑑賞会は恒例の「各地庭園見学会」をはじめ「講演会」「研究会」を可能であれば随時開くなどして新会員の募集の一つの核としたい。

なお本年度は、秋にオーストラリアで2012年「国際日本庭園シンポジウム」が開催され、ワークショップのメンバーとして、前回、サンディエゴ大会へ参加した会員に出席を要請している。このために本年度はこれを「伝統庭園技塾」にあて、国内での技塾は休会とする。以上のごとき事業を周知、徹底させるために重要な広報部門は、各部の協力を得組織を拡充し、GSJミニ・ニュースの発行の充実をはかることとする。

これらの実現を進めて行くためにも、会員の増加、会費の完全納入、これを推進する事務局の体制確立を積極的に実践することが急務であるのも言をまたない。

以上を指針として平成24年度の事業を実施することとし、以下にその計画案および予算案を提議する。

（龍居 竹之介＝会長）

【本部事業】

⑴**本部事業の推進** ①ホームページの更新、充実を図る ②会員の確保、事務局の充実、支部体制の拡充を図る ③支部表彰、感謝状贈呈及び各種の表彰

⑵**総会等の開催** 定期総会 東京明治神宮 文化館（3・16）

⑶**総務事業** 総会と役員会の開催（常務理事会（年10回） 理事会（年2回） 支部長会（年1回）

⑷**技術事業** ①若手向け庭園技術連続基礎講座の開催（3・25／4・22／5・27／6・24／7・29）②河原相談役の基本的な庭園の巡回講演、その他

⑸**広報事業** ①庭園ニュースの発行第67号（1月1日発行）をはじめ年間4回発行 ②GSJミニ・ニュースの発行 葉書にて毎月発行 ③協会機関紙「庭園」の刊行、その他

⑹**国際活動事業** 平成24年度開催「国際日本庭園シンポジウム」への対応 9月初旬頃、オーストラリアにて開催

【鑑賞会ブロック事業】

⑴**会議の開催** ①総会 日本女子大学桜楓2号館（3・24）

⑵**研究会** 「人と世間と庭の顔～日本の庭のありようを見る」（社）日本庭園協会会長 龍居 竹之介 氏（3・24）

⑶**庭園見学会** ①春季見学会 和歌山県国指定名勝庭園見学 根来寺、粉河寺、和歌山城紅葉渓庭園、養翠園、琴ノ浦温山荘庭園（5・16～17）②秋季見学会 強羅、MOA神仙郷、箱根美術館、強羅公園（11月中旬）

【支部事業】

〈北海道南支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会・懇親会（1月下旬）

⑵**技術事業** 本年度講習及び研修会の実施事項決定（3月末）

〈東北支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（2・26）②懇親会（12月）

⑵**見学会** 庭園見学会（6月）

〈茨城県支部〉

⑴**会議の開催** ①役員会（2・15～12・15 5回）②評議員会（3・16）③支部総会（4・14）④支部長会

⑵**技術事業** ①向上庵池周り剪定下見（3・9）②向上庵池周り強剪定（3・22～25）③向上庵茶会（4・8）④向上庵の池及び石組清掃・測量（土浦市小野）（8・25～26）

⑶**見学会** 岡山県・鳥取県方（10・14～16）

⑷**その他** 遠州寺子屋キャラバン「遠州の庭」龍居会長講演会出席（2・26）

〈栃木県支部〉

⑴**会議の開催** 支部総会（4月）

⑵**技術事業** ①「栃木県の石材見学会」各支部へ募集（6～7月）②足利市の古庭園見学会と講演会 各支部へ参加募集（11・10～）

⑶**見学会** 本部協力を依頼予定（11月予定）

⑷**庭園啓発事業** 古庭園からの〝まち活性化〟事業を行う計画 足利庭園文化研究会に協力（11・23～）

⑸**支援活動** 宮城県亘理町被災小学校へ植樹支援 東北支部会員に協力依頼予定 足利庭園文化研究会と協力事業（4月上旬）

〈埼玉県支部〉

⑴**会議の開催** ①総会・新年会（1・22）②作品発表会

⑵**技術事業** 研修会 県立いずみ高等学校（2・5／4・15／5・20／6・2、3／7・1／10・27、28）

⑶**見学会** 研修旅行（9・24、25）

〈千葉県支部〉

⑴**会議の開催** ①支部総会（5・27）②会計監査（5・23）③役員会（6・2～7・14 2回）④忘年会（12月）

⑵**技術事業** ①ボランティア活動、サ

クラてんぐす病除去　成田西陵高校（3・17）②支部技塾　流れ周囲石積み（4・21、22／5・19、20）飛び石、延べ段（6・23、24）※今年度より技塾を月末の土日の2日間とする③剪定作業 兵庫県無量寺（8・26～29）

(3)講習会　マキの木作り整枝実技研修会（4・7、8）

(4)見学会　金沢方面（10月）

(5)その他　①千葉県銘木100選現地調査（掘り起こし）②国際日本庭園シンポジウム参加（9月）

〈東京都支部〉

(1)会議の開催　①講演会打合せ（1・14）②講演会の決算報告と反省会（1・29）③理事会（2・14）④鑑賞部会総会出席（3・24）⑤支部総会

(2)技術事業　①玉堂旧宅「偶庵」剪定講習会 講師…平井孝幸氏、中村 寛氏（4・1）②「偶庵」実測の為の縄張り作業（4・15）③新潟県支部の協力を得て「偶庵」実測図作成研修会（4・21、22）

(3)講演会　「里山に学ぶ茅葺きの話」筑波大学芸術系教授　安藤 邦廣氏 日本女子大学桜楓館二号館（1・22）

(4)その他　「偶庵」実測講習の協力依頼に新潟県支部を訪問（2・5）

〈神奈川県支部〉

(1)会議の開催　①役員会（1・26～11・15 3回）②支部総会・懇親会（1・26）

(2)技術事業　①第1回庭園研修会　垣根講習会　第1部（1・15）第2部（1・22）第3部（2・4～6）②第2回庭園研修会　横浜西公会堂（4・15）③第3回庭園研修会　横浜西公会堂（6・19）④第4回庭園研修会（8・17）⑤第5回庭園研修会（10・21）⑥庭盛会（青年部）定例会、講習会、見学会等実施（1月から各月）

〈新潟県支部〉

(1)技術事業　①支部主催「第19回伝統庭園技塾」貞観園（未定）②実測調査予定（未定）

(2)見学会　①県外研修会（未定）②県内研修会（未定）

(3)田中泰阿弥研究会　①第10回手紙を読む会（3・10／4・10／5・12／6・9／7・14／8・11）毎月第二土曜日

(4)その他　企画展（未定）

〈石川支部〉

(1)会議の開催　役員会（随時）

(2)技術事業　講習会　露地・茶室・喫茶の心得　岩谷支部顧問　石川県小松市　玄庵（9月下旬）

(3)見学会 伊豆・箱根方面（5・20～22）

〈静岡県支部〉

(1)会議の開催　支部総会（3・4）

(2)技術事業　①視察研修会員の提案希望により随時開催②技術研修員の提案　希望により随時開催

〈愛知県支部〉

(1)会議の開催　支部総会 企画会議（2月中旬）

〈近畿支部〉

(1)会議の開催　①支部総会（4・25）②役員会その他随時（日程未定）

(2)見学会　京都ハイアットホテル（旧皇族家屋庭園）（7・20）

〈岡山県支部〉

(1)会議の開催　①役員会（2・27）②支部総会（3・14）

(2)その他　24年度予定、未定

〈広島県支部〉

(1)会議の開催　支部総会（1・29）

(2)技術事業　①石割講習（1・7、8）②技術講習 旧閑谷学校（岡山県備前市）石塀の模写・製作（1・7～29間4回実施）引き続き完成まで製作予定

(3)見学会　直島・犬島方面のアート見学（6～7月頃）

(4)その他　①現状における薬剤散布の調査、研究②壁面緑化（たて庭）の調査、研究　※以上、条件・準備が整えば実施予定

〈島根県支部〉

(1)会議の開催　支部総会（日程未定）

(2)その他　他支部との交流情報交換

〈山口県支部〉

(1)会議の開催　幹事会（年に3～4回）

(2)見学会　城ノ先温泉の庭から京都見学予定

〈香川県支部〉

(1)会議の開催　支部総会（5・19）

○第三号議案「役員改正の件」

趣旨説明＝龍居 竹之介 会長

総会に先立って開かれた評議員会にて承認された平成23年～24年度役員（案）が、総会においても議決された。また、龍居 竹之介会長の退任と、金子 直作新会長の就任は平成24年度中の新法人移行を見据えて新しい組織としての役員改正（案）であると説明された。

○第四号議案

「総会議決事項の委任の件」

趣旨説明＝龍居 竹之介 会長

総会議決事項の常務理事会への委任が可決された。

○その他

本年度の日本庭園協会賞は、該当者がなく見送られたが支部表彰は東北支部 粟田 幹夫支部長、栃木県支部 外丸 実支部長、東京都支部 上野周三支部長に表彰状が贈られた。また、龍居 竹之介会長は、名誉会長に就任し毛利 元敬名誉会長、西村 章子副会長、石川 昇造常務理事、山田 昌次常務理事、庄司 ヨシ常務理事は、退任後名誉会員に就任。各氏の功労に対し感謝状がそれぞれ贈呈された。総会は、西村 章子副会長の閉会の辞で無事終了した。引き続き会場を移して、懇親会が開かれた。

平成 23 年度収支計算書

平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科　目	①23年度予算額	②23年度決算額	②－①増減
Ⅰ　事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
入会金収入	150,000	118,000	△ 32,000
入会一時金		10,000	10,000
正会員会費収入	7,761,000	7,308,920	△ 452,080
３カ年経過未収会費	2,786,080	△ 215,000	△ 3,001,080
総会費収入	800,000	1,218,000	418,000
寄附金収入	0	0	0
受取利息	1,000	37	△ 963
誤入金		3,451	3,451
維持会員会費収入		0	0
事業活動収入計	11,498,080	8,443,408	△ 3,054,672
2．事業活動支出			
①事業活動収入計			
定期総会費	700,000	680,280	△ 11,490
理事会費	300,000	518,488	7,939
活動振興費	6,200,000	2,486,257	△ 4,979,058
会報印刷配布費	700,000	679,115	△ 145,309
事業費支出計	7,900,000	4,364,140	△ 5,127,918
②管理費支出			
事務局員給与	1,500,000	220,494	△ 1,279,506
渉外慶弔祝賀費	200,000	203,750	3,750
旅費交通費	30,000	130,080	100,080
運営諸管理費	300,000	300,000	0
通信運搬費	700,000	646,872	△ 53,128
消耗什器備品費	50,000	5,580	△ 44,420
文具消耗品費	100,000	76,877	△ 23,123
広告宣伝費	50,000	31,500	△ 18,500
光熱水料費	50,000	44,031	△ 5,969
賃借料	900,000	900,000	0
保険料	20,000	0	△ 20,000
租税公課	0	0	0
法律事務所顧問料	378,000	378,000	0
法人申請準備金	0	0	0
会計事務所顧問料	164,000	164,000	0
諸手数料	80,000	36,335	△ 43,665
雑支出	680,001	0	△ 680,001
予備費	7,000		△ 7,000
事業活動収入計	5,209,001	3,137,519	△ 2,071,482
事業活動支出計	13,109,001	5,909,601	△ 7,199,400
事業活動収支差額	△ 1,610,921	2,533,807	4,144,728
Ⅱ　予備費支出			
当期収支差額	△ 1,610,921	2,533,807	4,144,728
前期繰越収支差額	1,610,921	1,610,921	0
次期繰越収支差額	0	4,144,728	4,144,728

正味財産増減計算書

平成 23 年 1 月 1 日から平成 22 年 12 月 31 日まで

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　一般正味財産増減の部	
1　経常増減の部	
(1) 経常収益	
①受取入会金	
受取入会金	118,000
入会一時金	10,000
②受取会費	
正会員受取会費	7,308,920
三ヵ年経過未収会費	△ 215,000
③受取総会費	
総会費	1,218,000
④受取寄附金	
受取寄附金	
⑤雑収益	
受取利息	37
誤入金	3,451
経常収益計	8,443,408
(2) 経常費用	
①事業費	
定期総会費	688,510
理事会費	307,939
活動振興費	1,220,942
会報印刷配布費	554,691
②管理費	
事務局員給与	220,494
渉外慶弔祝賀費	203,750
旅費交通費	130,080
運営諸管理費	300,000
通信運搬費	646,872
消耗什器備品費	5,580
文具消耗品費	76,877
広告宣伝費	31,500
光熱水料費	44,031
賃借料	900,000
保険料	0
租税公課	0
法律事務所顧問料	378,000
法人申請準備金	0
会計事務所顧問料	164,000
諸手数料	36,335
諸雑費	0
経常費用計	5,909,601
当期経常増減額	2,533,807
当期一般正味財産増減額	2,533,807
一般正味財産期首残高	1,610,921
一般正味財産期末残高	4,144,728
Ⅱ　正味財産期末残高	4,144,728

収支計算書に対する注記

1．資金の範囲

資金の範囲には、現金及び預金、未収会費、立替金及び未払金、前受会費、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記２.に記載するとおりである。

2．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　目	前期末残高	当期末残高
現金及び預金	1,378,951	1,582,998
未収会費	2,982,080	4,745,890
立替金	0	75,000
合　計	4,361,031	6,403,888
未払金	2,478,000	2,253,000
前受会費	111,000	0
預り金	161,110	0
仮受金	0	6,160
合　計	2,750,110	2,259,160
次期繰越収支差額	1,610,921	4,144,728

貸 借 対 照 表

平成 23 年 12 月 31 日現在

（単位：円）

科　目	金　額	科　目	金　額
Ⅰ　資産の部		Ⅱ　負債の部	
1．流動資産		1．流動負債	
現金	170,312	未払金	2,253,000
普通預金	521,820	預り金	6,160
振替預金	841,026		
通常預金	49,840	流動負債合計	2,259,160
未収会費	4,745,890	負債合計	2,259,160
前払金	75,000		
		Ⅲ　正味財産の部	
		1．一般正味財産	4,144,728
流動資産合計	6,403,888	正味財産合計	4,144,728
資産合計	6,403,888	負債及び正味財産合計	6,403,888

財 産 目 録

平成 23 年 12 月 31 日現在

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
現金預金	
現金手許有高	170,312
普通預金　みずほ銀行　江戸川橋支店 口座番号　1716382	521,547
普通預金　りそな銀行　早稲田支店 口座番号　1441361	273
振替預金　ゆうちょ銀行 ＃00110-5-76081	841,026
通常預金　ゆうちょ銀行 ＃10040-50368701	49,840
未収会費	
うち平成 20 年分会費　196,000	4,745,890
平成 21 年分会費 1,028,080	
平成 22 年分会費 1,758,000	
資産合計	75,000
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	6,403,888
未払金	2,253,000
仮受金　ワークブックス誤入金	6,160
負債合計	2,259,160
Ⅲ　正味財産	4,144,728

※未払金内訳

鑑賞会補助金	200000
事務局給与	1,300,000
運営諸管理費 H23 年分	300,000
会計事務所顧問料 H23 年分	164,000
法律事務所顧問料 H23 年後期分	189,000
公益法人申請費用 H22 年分	100,000
	2,253,000

監　査　報　告　書

下記監事３名は、社団法人日本庭園協会において、会長の提出した平成 23 年度における会務の執行を総括した会費収入の「活動振興費」の内訳並びに「収支計算書」「正味財産増減計算書」「貸借対照表及び財産目録」等につき監査した。

監査の結果、会務の執行は当該協会の定款に基づき誠実に行なわれており、正確に処理されていることをみとめます。

平成 24 年　2 月　22 日

社団法人日本庭園協会
監事　　原　徳三
同　　河村　素山
同　　鈴木　崇

鑑賞会 講演会
日本女子大学桜楓2号館
平成24年3月24日

「人と世間と庭の顔」要旨

（社）日本庭園協会　名誉会長
龍居 竹之介

庭は人のための庭であって、庭のための庭ではないのに誤解されて勝手に歩いているのが現状だ。庭は見る人によっても文化によっても異なるものだが、どうも日本の庭はことさら勝手に歩いている感じがする。例えば平安時代、鎌倉時代などの古いお寺の庭を見る人は殆んどの場合、竣工したときの庭の形が今日までそのまま残っているものと錯覚してしまうらしい。

庭はその時代、その時代の気象条件や色々な事情やら、たびたびの改修の歴史を経て今日の姿になっているというのが本当の話だ。

さて日本の庭の「宝物」は何だろう？　それは四季があることである。海外の庭にはこれほど鮮明に四季を感じさせるものは無い。日本人は昔から自然に対する感性のレベルが高く、それが今日まで継承されてきている。その意味でも四季の楽しみ方を育ててきたこの歴史と伝統を現代に生かした庭づくりが必要とされているのではないかと私は思う。

「作庭記」の時代から自然景観を何より「良し」とする日本人の美意識の高さも一つの「宝物」である。

また飛鳥時代に朝鮮半島を経由して日本に入ってきた輸入文化のひとつの燈籠などの石造物から、夜の庭園照明用としての織部形や雪見形など新たな燈籠を創出するなど、外来の文化を見事に融合させている点も高く評価できる。

庭を総合的に考える集まりとして大正7年に発足した現在の日本庭園協会と、庭づくりの専門家たちの社会的地位と知識を高めるため昭和13年に発足した日本造園士会とは後年、合併し、現在の姿となった。この二つの会の考え方は車の両輪のごとくであり、今後も一層、力をつくしてゆかねばならない。それが創立百年に向けてのよき指標になればと思う。

（要約…監事 大成 白歩）

熱弁をふるわれる龍居名誉会長

平成24年度支部活動報告

東京都支部　講演会
日本女子大学桜楓2号館
平成24年1月22日

「里山に学ぶ茅葺きの話」要旨

筑波大学芸術学系教授
安藤 邦廣

安藤氏は民家の流れを研究されています。今回のテーマの茅葺きは、戦国時代、建築に大きな革新が起きて、食料、資源、エネルギーが限界に達し、どうやって生きてゆくか大いに考え、打開しようとした時代に誕生した背景と、この百年間の大き悲劇が、日本が生まれ変わる大きな変わり目となったことに注目して、考えたいと思います。

……

最初は、五百年前に、銀閣寺の東求堂は、書院造の始まりとして、それ以前の宮廷建築は時代に合わないと、義政が四畳半の小さな書院を造りました。その後、利休は、草庵をさらに極め茶室が誕生しました。お茶室と民家は同じ社会背景の兄弟といえます。民家は、この時代に茅葺きとして初めて形をとった。草で屋根を葺くという事が、この時代の大きなテーマです。

大きな社会変革が強いときに、茅葺きが登場した事と現代で起きている事、そして、未来を考えるために今回茅葺きというものに学ぶ意味を考えて欲しいと思います。茅葺きを話すキーワードとなる、里山の発生は、室町時代の終わりに天然林が底をついた時です。人間は新しく森林や山との付き合い方をつくり変えた時代でした。生活するためにつくり替えた山、里山の誕生です。

人間は里山の資源で、江戸時代には三千万人が暮らせる持続社会を造った。茅葺きは里山に依存した建築です。農耕が茅葺きの生みの親ですし、衣食住、草が基本、草の循環で暮らしてきた。そして、草原をつくってきた。

現在は、里山を考え直そうと色々な分野で始まっています。茅資源の再生、草地の様々な利用価値、モノを提供する場から文化・いのち・環境を提供する場そして、バイオマス、水源、草原回復の共同取組、癒しの空間等として見直されています。

かつて縄文時代の建築は栗でした。山の文化です。食料も栗だった。草原は生物の棲み家、山菜や薬草の宝庫で茅葺きは草の文化です。春の七草は食して楽しみ、秋の七草は花を愛でで楽しむことです。「春が来た春が来た　どこにきた　山に来た里に来た　野にも来た」は正に里山ソングです。豊かな恵みを与えてくれる里山という二次自然で慣れ親しんでいた茅葺きという草の文化で工夫して暮らしてきたことを、もう一度思い出して、考えて頂いて、これからの新しい庭園を造っていただきたいと思います。

（要約…広報委員　加藤 精一）

映像を使った説明

檀上の安藤先生

熱気あふれる受付

「里山に学ぶ茅葺きの話」を聴いて

由比 誠一郎

今回、建築家であり筑波大学芸術学系教授の安藤 邦廣氏に茅葺き屋根を通して自然と共生する循環型社会に関するお話を伺うことができました。

お話は屋根の歴史から、その土地の気候風土に深く関連した材料や屋根の形の変化、そして、道具や技術的な解説。また、それを取り巻く自然環境。限られた時間の中では足りない内容でした。その中で気になったのが、やはり、自然と共生する循環型社会。農耕文化の発展とともに、茅場は維持、管理され、雑木林などと同じ様に里山の一部となり、循環することで無駄のない、スムーズな環境が出来上がりました。それに伴い、いろいろな良い作用が働き、潤いをもたらしました。しかし、現代は農林業が衰退し、茅場や雑木林も姿を消しつつあります。また、茅葺き屋根を残していくことが難しくなっているのも事実です。私たちは里山の風景、農耕文化の象徴である茅場を残し、守らなければならない。そのために、現代の生活の中に、茅の良さを生かし活用する取り組みをしている。今まで育んできた循環を崩さないこと。それらの重要性を訴えられました。

本講演では、伝統を継承していくことの難しさを改めて感じました。

満員の会場風景

自然と共生し受け継がれてきたものは、技術的な部分だけではなく、どこかひとつ欠いてしまうと絶妙に保っているバランスが崩れてしまう危うさも持っています。日本の伝統建築である茅葺き屋根を新たに作ることは、いろいろな制限のある中で難しいかもしれません。しかし、現存している茅葺き屋根は私たちが受け継いでいかなくてはいけない日本の里山の風景です。また、自然を守っていくには、人間の都合に合わせるのではなく、四季を感じる余裕を持ち、自然の流れに合わせ、循環を崩さず保っていくことが必要です。里山の風景は、人が生活することで出来上がった身近な自然。環境を考えることのできる場所としても、大切にしていかなければと思います。

（東京都支部正会員）

会費納入のお願い

日ごろより、当協会の活動・運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。当協会は補助金や交付金などは一切受けておらず、運営は会員の拠出する会費のみでまかなわれております。今年度も皆さまの速やかな会費納入をお願いいたします。

■ 年会費：正会員　13,000円／1年
賛助会員　7,000円／1年
維持会員 20,000円／1口
（年度は 1月1日～12月31日が区切りです）

■ 振込先：郵便為替口座
00110-5-76081